

多久市立病院改革プラン（案）に関するパブリックコメントの実施結果

1. パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成29年2月23日～平成29年3月10日
- (2) 応募者数・件数 1名・7件
- (3) 提出方法の内訳 電子メール

NO	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>前回の『多久市立病院改革プラン』の実績評価をされたと思いますが、その実績の成果と反省点を教えてください。（1頁）</p>	<p>前回の改革プランは、多久市立病院管理会議で点検を行い、多久市行財政改善協議会で評価を受けています。</p> <p>実績の成果としては、概ね一定の評価をいただいておりますが、療養病棟への入院患者が少ないため、引き続き検討することとしておりました。</p>
2	<p>4頁の『高度急性期・急性期・回復期・慢性期』について中部の平成26年から平成37年への過剰・不足数が夫々記載してありますが、多久市立病院についての過剰・不足数はどの様になっているのでしょうか？</p>	<p>平成28年3月に策定された「佐賀県地域医療構想」の平成37年の必要病床数と平成26年の病床機能報告の病床数を比較すると、中部構想区域（佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町）において、急性期・慢性期が過剰となっています。</p> <p>個々の病院について、過不足は示されていません。</p>
3	<p>市立病院で行われた『手術・検査等の公開』を以前はHP等で実施されていましたが、最近市立病院のHPを見てもみずと其の情報が掲載されていません。どの様な理由で廃止されたのでしょうか？</p>	<p>今後掲載を予定しています。</p>
4	<p>7頁に『平成37年における市立病院の具体的な将来像』として10項目を挙げられていますが、その中の</p> <p>(A)『多久・小城地区に分娩可能な医療機関がないことや、子育て環境の充実のため、産科・小児科の機能』とありますが、その実現の為に具体的にはどの様な手立てを考えられていますか？</p> <p>(B) また、『高齢社会にニーズが高まる眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科等の機能』とありますが、現在多久市立病院に無い『眼科』の機</p>	<p>(A) (B) 本改革プランでは、「市立病院の具体的な将来像」については「多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会報告書」でまとめられた機能を担える病院としています。</p> <p>それぞれの具体的な取り組みは今後検討していくこととなります。</p>

	<p>能設置の為に具体的にはどのような手立てを 考えられていますか？</p> <p>(C)『当面増加傾向を迎えるがん患者に対する緩和ケア』はどのような内容ですか？</p>	<p>(C) がん患者の治療に際して、延命をはかるための治療のみならず、個人の痛み、不眠などの症状に対してきめ細かく対応することによって、快適さを保とうとする医療です。</p>
5	<p>14頁に『窓口未収金の回収』とありますが、その実情はどのようなになっていますか？</p>	<p>2か月に一回の催告状と事務室での面談による誓約書の提出、また、窓口での未収患者に対しての催告、電話での催告を行っています。</p>
6	<p>以下、『多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク』に関連して。</p> <p>まず、平成21年及び平成25年の『多久市立病院改革プラン』における『再編・ネットワーク化計画の概要等』に関しては、『公立病院等の再編・ネットワークは、佐賀県全体の医療計画との係わりがあり、一つの病院の問題として捉えることは困難な面がある。それと同時に、地域住民の理解が不可欠である。現在、佐賀県で「公立病院の今後のあり方を考える会」が設置され、協議されている。この報告・内容等を見極めて平成25年度までに再編・ネットワークを検討する。』と書かれていました。しかし、今回は1頁目の『はじめに』において『将来展望が求められている。』とか『平成28年8月に「多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会」を立ち上げ、平成29年1月には報告書が取りまとめられた。』、また、『今回の新病院改革プランについては、上記研究会の報告書を尊重しその趣旨を反映させた「多久市立病院改革プラン」を策定するものである。』と書かれています。加えて、15頁の『再編・ネットワーク計画の概要』においては、「両病院を統合し、新たな病院を設立することが最も望ましい選択肢であるとしている。多久市としては、報告書の趣旨を重く受け止め、将来、多久市立病院と小城市民病院の両自治体</p>	

病院の統合と、それに続く新病院の設置を目指し、今後、小城市と協議を進めていく。」と明記されています。

◆これを踏まえて以下にご質問します。

(1) 平成28年8月に立ち上げられた『多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会』を立ち上げる際に、両市民に対して其の旨を告知されましたか？(10頁に『改革を実施する中で計画の見直しや現在の医療機能を変更する場合には、住民の理解を得るために多久市報、ホームページ、ケーブルテレビ等で情報を発信する。とありますが、本件はその事由に当たると思いますが。』)

(2) また、この『平成29年 多久市立病院改革プラン』は多久市議会には事前に説明されましたか？

(3) そもそもこの様な重要な内容を含んだ改革プランを市民の意見募集としての『パブリックコメント』に委ねられるというのは如何と思います。其の前に多久市立病院のこれまでの経緯、現状、課題、これからの取組み、そして再編等につき『市民に対して事前の説明』を行うべきだと思います。(今までの多久市のパブリックコメントの状況を見るとこれでは十分な意見収集が出来るとは思えません。)『住民説明会』を実施して欲しいと思います。

(4) 『多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会』とはどういうものでしょうか？(構成委員はどのようなになっているのでしょうか？そこでどんな事が議論されたのでしょうか？議事録の公開は？)

10頁の「計画の見直し」は、本改革プランの内容についての見直しを行う場合であり、

(1) 『多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会』の設置は、この計画見直しには該当しません。

(2) パブリックコメントを実施するときは、事前に説明するようになっていまして、平成29年2月22日に市議会に概要を説明しております。

(3) 研究会の意見を反映させたプランとしていますが、「再編・ネットワーク化計画」については、研究会の報告があったところで、市立病院としての検討はこれから行うところです。

検討を進める中で、必要に応じて市民等への説明を行う予定です。

(4) 県内の医療専門家、県医療統括監、多久市長、小城市長を含めた研究会で、多久市・小城市は、佐賀県地域医療構想を踏まえた新公立病院改革プランを平成28年度末までに策定する必要があるため、多久市立病院及び小城市民病院のあり方と再編・ネットワークに関する基本方針、その他、両病院における新公立病院改革プランに関し、共通認識

	<p>(5) 仮に『統合』されるとしたら、</p> <p>①病院の場所はどこになるのか？（多久市立病院や小城市民病院とも築年数が古く、また平成37年6月までにスプリンクラー設置など義務付けられており、どちらかの病院の現在地での新築・再建となるのでしょうか？それとも全く違った場所になるのでしょうか？）</p> <p>②もし多久市立病院が『廃・閉院』となった場合、『県指定の災害拠点病院』が無くなるわけですが、その後の対応はどうなるのでしょうか？</p> <p>③それ以上に、市長以下が今まで発言されていた『地域に根ざした病院』が無くなり、もし小城市内に建設されるようになると、『市民の安心』を脅かすこととなります。例えば西多久町民は距離的に更に不便になります。其のような市民の利便性の視点からのご検討はなされているのでしょうか？（その逆もあります。）</p>	<p>をもつべき事項について検討していただきました。</p> <p>(5)</p> <p>「再編・ネットワーク化計画」については、これから検討を始めるところです。現時点で検討している項目はありません。</p>
7	<p>最後に、このパブリックコメントの募集期間を『平成29年2月23日～平成29年3月10日』とされた理由はなんですか？市が導入された時の説明では『意見募集期間は30日以上』と記載されています。</p>	<p>平成29年1月19日に研究会の報告書が取りまとめられました。その報告を受けて、市立病院管理会議、多久市行財政改善推進本部会等で協議し、2月23日からパブリックコメントの実施となりました。</p> <p>新病院改革プランについては、総務省が平成28年度中の策定を求めていることから、多久市パブリックコメント実施要綱第6条第1項ただし書により、3月10日までいたしました。</p>